事務事業調書	No	663	課 名	総務課	起 案 者	畑中有里
平成23年度			係 名	庶務係	決 裁 者	平岩八尋
事 業 種 別	施設管理		区 分	継続	業務一覧No	3,4,5
事務事業名	中学校施設管理事業				他 係名	
					他係 業務一覧No	

1 事務事業の位置付けと起案事由(事業の必要性)

総合計画体系	4 個性と文化を育む環境づくり 3 学校教育 2 義務教育 3 安全で快適な教育環境 2 快適な環境づくり	予算科目(会計)	一般会計	
		予算科目(款・項・目)	50-15-5	
		総合計画以外の計画		
		関連する総合計画の施策		
性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの（選択的事業）	法定受託事務	無	
根拠法令	無			
実施方法	一部委託	委託先	民間企業	
実施期間	開 始 平成元年度	経 過 22年目	終 了	期 間
公約・議会答弁	無			
陳情・市民要望	無			

2 事務事業の概要

求める成果	誰(受益者)が	生徒が	～になる	安心して学校生活を送ることができる
事務事業の内容	学校施設の維持管理や夜間警備等を実施し快適な教育環境を整えます。			
事務事業進捗状況	施設保守管理・中学校の施設警備・学校予算の配分などを実施している			
改善・対策の履歴				
環境配慮の視点	環境目標〇－基本的施策〇－具体的施策〇			

3 事務事業の事業費(千円)、人員推移(人)

	項 目		平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度
			目標(予算)	実績	目標(予算)	実績	目標(予算)	実績	目標(予算)
コスト	総事業費 f=a+d+e		57,756	55,057	60,313	55,445	59,365	48,087	59,516
	財 源 計 a		56,099	53,400	58,732	53,864	57,031	45,753	57,182
	財源の内訳	国 庫 支 出 金	0	0	0	0	0	0	0
		県 支 出 金	0	0	0	0	0	0	0
		市 債	0	0	0	0	0	0	0
		その他( )	0	0	0	0	20	4	2
		一 般 財 源	56,099	53,400	58,732	53,864	57,011	45,749	57,180
	受 益 者 負 担 金		0	0	0	0	20	0	2
	職 員 人 件 費 d		1,657	1,657	1,581	1,581	2,334	2,334	2,334
	内 訳	従 事 職 員 数	0.22	0.22	0.21	0.21	0.31	0.31	0.31
	人事課予算分人件費 e		0	0	0	0	0	0	0

4 求める成果を得るための活動

				年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
活動	活動①	活動名（活動内容）	中学校施設管理委託	見込（単位）	0.00	0.00	0.00	8.00
				実績b（単位）	0.00	0.00	8.00	
		指標名（単位）	委託業務を実施した学校数（校）	活動の総事業費f 実績	55,057	55,445	48,087	
				単位コストg=f÷b 実績	0.00	0.00	6,010.91	
	活動②	活動名（活動内容）		見込（単位）				
				実績b（単位）				
		指標名（単位）		活動の総事業費f 実績				
				単位コストg=f÷b 実績				
	活動③	活動名（活動内容）		見込（単位）				
				実績b（単位）				
		指標名（単位）		活動の総事業費f 実績				
				単位コストg=f÷b 実績				

5（1） 成果の目標と実績

		指標名・指標式（単位）	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
成果	成果1	ガラス被害（件）	見込（単位）	0.00	0.00	0.00	0.00
			実績（単位）	3.00	4.00	7.00	
			達成状況	未達成	未達成	未達成	
		目標成果指標値	0.00	目標達成年度			
	成果2	指標名・指標式（単位）	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
		遊具故障件数（件）	見込（単位）	0.00	0.00	0.00	0.00
			実績（単位）	7.00	5.00	22.00	
			達成状況	未達成	未達成	未達成	
		目標成果指標値	0.00	目標達成年度			

5（2） 成果１、２以外の成果

	市民の意見、利害関係者の声などをプラス・マイナス両面からコスト、成果に分けて具体的に記入
成果	

6 単位コストと成果の分析

	項目	どのような内部の取り組みや外部要因が影響を与えたのか、プラス・マイナスの両面からコスト、成果に分けて具体的に記入
分析	単位コスト	教職員にも施設の点検・施錠の確認・校内警備などを依頼しました。
	成果1，2	

7 所属長の改善案

	コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案、市民にわかりやすく説明する
改善	今後とも委託業者にだけ任せるのではなく、教職員の点検等も充実していきます。

8 方向性

方向性	必要性、効率性、有効性を踏まえ、今後どのように事業を進めるか、方向性を選択し、内容を市民に説明します
維持・継続	快適な学校生活が送れるよう施設の維持管理に努めます。